

# 2回戦

10年秋季リーグ  
第6週・10月13日  
2勝0敗

# 主砲、ついに目覚める

# 4番の活躍で勝ち点奪取



【上】リーグ戦初打点が勝ち越しの適時打となった戸柱

【右】押し出しの四球を選び、貴重な1点を入れた岡

写真 田上慧  
橋本圭史  
水出綾香  
文 丸山翔太



【上】今季初本塁打を放つ北畠

## 東農大 3-5 駒大

（商4）の左前安打と四死球で2死満塁の好機をつくり、打席に立つのは、井口の女房役・戸柱。「同級生の井口が投げていたので楽しみにしてやろうと思つた」と右前適時打を放ち勝

この試合に勝てば、2部優勝争いから一歩リードする駒大。先発の井口は初回に2死から先制を許してしまふが、その裏すぐさま2死二塁とし、北畠の中前適時打で同点に追い付く。

続く4回には笠間将裕（商4）の左前安打と四死球で2死満塁の好機をつくり、打席に立つのは、井口の女房役・戸柱。「同級生の井口が投げていたので楽しみにしてやろうと思つた」と右前適時打を放ち勝

ち越しに成功し、続く岡将吾（法3）が四球を選び、さらに1点を追加する。走者を出しながらも粘り強く投げてきた井口だったが、5回に右越本塁打を浴び、1点差に詰め寄られる。しかしその後、無死一塁から先制適時打を放った4番が「最近4年生がくすぶっていたんで打つてやろうと思つた」と、



【上】連投も、気迫の投球を見せた白崎勇

## 力投の二人！

3戦連続で勝ち点を獲得したが主将・笠間は「やることは変わらないんで、一つ一つやっていくだけ」と気を引き締めた。次の立正戦に勝てば目標の2部優勝を果たす。勝つしか道はない。

先発・井口拓皓（経2）は初回に先制を許すが、その裏に追い付くと4回に戸柱恭孝（現2）の右前適時打などで勝ち越す。5回、井口が本塁打を浴び、1点を失うが、北畠俊也（経4）の2点右越本塁打でリードを広げる。7回以降はエース・白崎勇気（管3）が抑え、勝ち点をつかんだ。

【下】粘り強く投げ、2勝目を挙げた井口



右翼スタンドへ打球を運び、流れを引き寄せる。7回からは連投となる白崎勇がマウンドへ。前日と同じ打者に左越本塁打を放たれるが、1失点に抑え継投で逃げ切つた。

東農大	100	010	010	3
駒大	100	220	00x	5

【駒大】	打安点
⑥ 岡	311
④ 赤木	300
⑤ 白崎浩	520
DH 北畠	323
⑦ 山下	200
③ 笠間	320
⑧ 小林	300
⑨ 民法	100
PH 森田	000
R9 嘉数駿	100
② 戸柱	311
PH 柴田	100
2上村新	000
計	2885

  

▽本塁打=北畠	回	打安責
○井口	6	2682
白崎勇	3	1011